

<p>科目名：老年看護学援助論 I</p> <p>(Gerontologic Nursing Assistance Theory I)</p> <p>履修年次/時期：2 年次 前期 授業形態：講義・演習</p> <p>担当教員：小浦さい子（実務経験有）、中村仁志（実務経験有）、石川智子（実務経験有）、石井一義（実務経験有）、石井玲子（実務経験有）</p>	<p>必</p>	<p>1 単位 (45 時間)</p>																
<p>学修目的</p>	<p>加齢による身体的・精神的・社会的変化を理解し、高齢者のヘルスアセスメント及び高齢者に適切な援助を実施する際に必要となる考え方を修得する。</p> <p>CP1. 2. 3. 6に関連する。 科目 No.KNz-214</p>																	
<p>この科目が目的としている DP</p>	<p>1. 医療専門職としての倫理観を有する。</p> <p>2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。</p> <p>3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。</p>	<table border="1"> <tr> <td>(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">◎</td> </tr> <tr> <td>(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○	(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎	(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○	(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○	(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○																	
(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○																	
(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。																		
(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎																	
(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○																	
(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○																	
(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○																	
(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○																	
<p>◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP</p> <p>○： この講義・演習・実習と関連がある DP</p>																		
<p>到達目標</p>	<p>1. ライフサイクルにおける老年期の身体的・精神的・社会的特徴について説明できる。</p> <p>2. 高齢者のヘルスアセスメントについて説明できる。</p> <p>3. 器官系統別の加齢変化について説明できる。</p> <p>4. 高齢者の生活行動の中での高齢者特有の不具合について説明できる。</p> <p>5. 高齢者のより健康的な生活を支える看護の役割と機能について説明できる。</p>																	
<p>授業概要</p>	<p>加齢変化、病、障害を合わせ持つ身心をどのように捉え、それに基づいてどのように生活を整えるかを理解する。そのために器官系統別の加齢変化とアセスメント、生活行動の中での高齢者特有の不具合と援助技術を学習する。</p>																	
<p>評価方法</p>	<p>定期試験 70%</p> <p>演習・提出物 30%</p> <p>評価に対するフィードバックは掲示で行う。</p>																	
<p>予習・復習時間</p>	<p>【予習】0.5 時間</p> <p>【復習】0.5 時間</p>																	
<p>教科書</p>	<p>系統看護学講座 専門分野 老年看護学. 北川公子他、医学書院</p>																	
<p>参考書</p>	<p>授業内で適宜紹介します。</p>																	

お問い合わせ
連絡先

小浦さい子 授業終了後～18:00 第3号館3階研究室 s.koura@kdu.ac.jp

中村仁志 授業終了後～18:00 第3号館3階研究室 h.nakamura@kdu.ac.jp

石川智子 授業終了後～18:00 第3号館3階共同研究室 t.ishikawa@kdu.ac.jp

石井一義 授業終了後～18:00 第3号館3階共同研究室 k.ishii@kdu.ac.jp

石井玲子 授業終了後～18:00 第3号館3階共同研究室 r.ishii@kdu.ac.jp

不在時はメールでお願いします。

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (/)	<p>【科目ガイダンス】</p> <p>①老年看護学援助論 I の概要を知る。</p> <p>②器官系統別の加齢変化やアセスメントが説明できる。</p> <p>③生活行動中の高齢者特有の不具合が説明できる。</p> <p>④生活行動中の高齢者への援助技術が説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書：老年看護学の該当ページを読んで臨む。</p> <p>[復習] キーワードをもとに授業内容をまとめておく。加齢に伴う 3 側面の変化をまとめておく。</p> <p>[キーワード] 老年看護学、老年看護学の変遷、老年看護の定義、老年看護の役割、加齢、老化、加齢に伴う変化</p>	<p>講義</p> <p>○小浦</p>
2 (/) 3 (/)	<p>演習 1 「高齢者を知る-高齢者の身になってみたら」</p> <p>①高齢者体験キットを装着し、高齢者が感じている加齢による身体的・精神的・社会的側面の変化をイメージし、説明できる。</p> <p>②高齢者体験による学びを、レポートにより説明できる。</p> <p>課題</p> <p>「レポート作成」指定用紙 月 日 時までに提出</p> <p>レポートテーマ：演習での気づき・学びと身体的変化と心理的变化等についての考察し必要な看護が考えられる。</p>	<p>[予習] 教科書：老年看護学の該当ページを読んで臨む。</p> <p>[復習] レポートに学びをまとめる。課題に取り組む。</p> <p>[キーワード] シミュレーション、高齢者体験、高齢者に対するイメージ、自己の高齢者観</p>	<p>演習</p> <p>○小浦</p> <p>石川智子</p> <p>石井一義</p> <p>石井玲子</p>
4 (/) 5 (/) 6 (/)	<p>高齢者のヘルスアセスメント</p> <p>①高齢者のヘルスアセスメントの枠組みが理解できる。</p> <p>②加齢に伴う身体機能の変化のメカニズムが理解できる。</p> <p>課題</p> <p>ワーク「メカニズムを関連図に描写する」</p>	<p>予習] 教科書：老年看護学の該当ページを読んで臨む。</p> <p>[復習] 身体の高齢変化とアセスメントを関連図とする。不明な点を調べ、理解が深まり、アセスメントに活用できる内容とする。</p> <p>[キーワード] ヘルスアセスメント、加齢変化とアセスメント（循環系、呼吸器系、消化・吸収、ホルモン分泌、泌尿器・生殖器系、運動系、難聴）</p>	<p>講義</p> <p>○小浦</p>
7 (/) 8 (/)	<p>症候のアセスメントと看護</p> <p>①高齢者に多い症状のなりたちと臨床的特徴が説明できる。</p> <p>②症候に対する看護の要点が理解できる。</p> <p>③高齢者の廃用症候群とは何か説明できる。</p> <p>④褥創の起因と看護が説明できる。</p> <p>⑤体圧分圧測定から看護が考えられる。</p>	<p>[予習] 教科書：老年看護学の該当ページを読んで臨む。</p> <p>[復習] 症候のアセスメントと看護の要点についてまとめる。</p> <p>[キーワード] 発熱、疼痛、掻痒、脱水、倦怠感、褥瘡、スキンケア</p>	<p>講義</p> <p>演習</p> <p>○小浦</p>
9 (/) 10 (/) 11 (/)	<p>日常生活を支える基本的活動(1)</p> <p>①基本動作とは何か説明できる。</p> <p>②ADL の種類が説明できる。</p> <p>③日常生活活動の評価方法が説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書：老年看護学の該当ページを読んで臨む。</p> <p>[復習] ADL 評価方法についてまとめる。</p>	<p>講義</p> <p>演習</p> <p>○小浦</p>

	<p>④転倒が高齢者に及ぼす影響と転倒予防の看護を説明できる。</p> <p>⑤身体拘束について体験から必要な看護が考えられる。</p>	<p>[キーワード] ADL、IADL、バーセルインデックス、FIM、CGA、転倒、廃用症候群</p>	
<p>12 (/)</p> <p>13 (/)</p> <p>14 (/)</p> <p>15 (/)</p>	<p>日常生活を支える基本的活動(2)</p> <p>①高齢者にとっての食事・食生活の重要性が説明できる。</p> <p>②高齢者の栄養評価と食事の援助が説明できる。</p> <p>③高齢者の尊厳にかかわる排泄ケアについて説明できる。</p> <p>④高齢者の失禁に対しての看護が説明できる。</p> <p>⑤高齢者の生活リズムを調整する意義が説明できる。</p> <p>⑥高齢者の生活リズムを整える看護が説明できる。</p> <p>⑦口腔ケアの援助が理解できる。</p> <p>⑧おむつ体験を通して排泄ケアの援助が理解できる。</p>	<p>[予習] 教科書：老年看護学の該当ページを読んで臨む。</p> <p>[復習] 摂食・嚥下機能の変化とアセスメント・ケアについてまとめる。排泄障害に対するアセスメントとケアについてまとめる。生活リズムのアセスメントについてまとめる。</p> <p>[キーワード] 摂食・嚥下機能、嚥下機能評価、排泄障害、排便障害、睡眠と覚醒の変化</p>	<p>講義 演習</p> <p>○ 小 浦 中村 石川智子 石井玲子</p>